

6 号様式

排出量削減報告書

		☒ 新規 ☐ 変更	
(宛先) 京都府知事		令和 8年 7月 15日	
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府久世郡久御山町森中内116-1		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 デューイテクニカル 代表取締役 秋山 直樹 電話 075 -633 -6800	

主たる業種	電気通信・信号装置工事業	細分類番号	0	8	2	3
事業者の区分	☒ 産業部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 ☐ 業務部門 ☐ 運輸部門					
計画期間	令和5年4月 ～ 令和8年3月					
基本方針	電気・電気通信工事業に係わる全ての事業活動において環境影響を改善するために、環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。					
計画を推進するための体制	KES委員会にて、温室効果ガス削減計画の進捗管理を徹底する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (2～4) 年度	第1年度 (5) 年度	第2年度 (6) 年度	第3年度 (7) 年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	22.7	19.8	20.8	21.6 トン	-8.7 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0	0.0	0.0	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	21.7 トン	19.8 トン	20.8 トン	21.6 トン	-4.5 パーセント
	年度ごとの増減率 (基準年度比)		-8.8 %	-4.1 %	-0.5 %	
	目標の根拠	太陽光発電の有効活用・省エネ活動の推進・無駄なエネルギーを削減する事で、目標削減率4%以上の削減を目指す。				
具体的な取組及び措置の内容	1年目	冷暖房の温度設定をこまめに変更・全社員の残業時間の削減。				
	2年目	空調温度の設定を調整し、サーキュレーター等で循環・残業時間削減。				
	3年目	太陽光発電のさらなる活用を図るとともに、業務効率化を推進し、残業時間及び電力使用量の削減に取り組む。また、空調設備の適正な温度管理 (夏季28℃、冬季20℃を目安) を実施し、電力使用状況の定期的な確認を行い、排出量の削減に努める。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	SDGs推進を社内浸透させる取り組みや、可能な限りペーパーレス化を実施					
特記事項						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
2 「細分類番号」とは、統計法 (平成19年法律第53号) 第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。